



みんなが笑って、幸せに暮らせるように

12月は人権週間、いじめ防止啓発月間であり、本校でも各学年で『人権教室』を行いました。

1年生と5組(個別支援級)は交流会を行い、5組の教室で一緒に遊んだり、体育館でグループワークをしたりしました。様々なペースの友達がいる、個性に合わせてルールを守り、役割を分担しながら一緒に楽しく遊んで、「みんなちがって、みんないい友達」ということも実感できたと思います。

1、2年生と5組は、「全盲のピアニスト」として演奏会などの活動をしている久保智さん(仏向町在住)のピアノ演奏を鑑賞しました。久保さんのお話しと演奏を聴きながら、視覚障害について考え、演奏やお話しに感動したり、楽しんだりすることができました。

2年生は、聾特別支援学校の先生から「聞こえないということ」の出前授業をしていただきました。「聞こえない」という方の思いに気付くことができ、聾特別支援学校の友達と自分たちとの共通点や相違点などを意欲的に質問して、考えを深めていました。

3年生は、「全盲のピアニスト」久保さんの講演と演奏を聴きました。視覚障害のある方の生活について知ること、様々な状況にある他者を思いやる気持ちが芽生えていました。

4年生は「認知症理解教室」を行いました。仏向地域ケアプラザの方々に来ていただき、各クラスで認知症について教えていただいたり、ロールプレイを行ったりして、理解を深めていました。

5年生は「助産師さんによる命の講座」を行いました。区役所の方や、助産師さんに、命の誕生から様々な人権についての講演、赤ちゃん抱っこ体験、妊婦体験、命の誕生の紙芝居等をしていただきました。自分の命の大切さと、同じように他者の命も大切だということを、命の誕生の感動や感謝と共に学ばせていただきました。学習支援ボランティアの皆様にも多数ご協力いただきました。

6年生は「平和学習」を行いました。中区にお住まいの金子様にお越しいたいただき、ご自身が体験された横浜大空襲の様子を語っていただきました。身近な横浜でも怖い悲惨な戦争があったことを聞き、子どもたちは「戦争を繰り返してはいけない」と、平和の大切さを実感していました。

子どもたちには、自分とは異なる様々な状況の人がいることに気づき、その人の思いや気持ちを思いやれるようになってほしいと思います。そして、お互いの主張に折り合いをつけながら、みんなが笑って幸せに暮らせる世の中をつくらせていこうとする姿勢を、育てていきたいと思っています。

ご協力いただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。2025年もよろしくお願い申し上げます。